

5 環境保全と社会貢献

1. 環境保全と社会貢献

一般市民や子供も参加する水環境保全等の社会貢献活動や、広報活動を共催又は協賛することにより、上下水道の水環境保全における役割等についての理解促進を図っています。

- ① 水循環に関するパネル展示やパンフレット等の資料配布
- ② 地方公共団体と協働した下水道フェア等の開催（4支部、5会場）
- ③ 水源林保全活動や河川等の清掃活動への共催・参加（5支部、6会場）また、小学生の上下水道への理解促進のため、小冊子を作成するとともに、他協会と協力して、「少年写真ニュース」への下水道の話題を掲載し、全国の小中学校約1万6千校へ配布しました。



仙台市下水道フェア（東北支部）



耶馬の森林植樹 参加者の作業風景（九州支部）

CSR

2. 下水道展'18北九州（西日本総合展示場）に出展【7月24日～27日/4日間】

「水コンサルタントの役割と魅力を発信」を基本方針に、「上下水道の担い手として」をコンセプトとして水コン協フェアを開設しました。

「ひと・まち・水の明日を考える一水のミライをプロデュース一語ろう明日の下水道」をキャッチフレーズに、技術相談では25件の相談がありました。水コン協ブースには4日間で1,877人が訪れました。



ブース来場者
（下水道展'18北九州水コン協ブース）



Association of Water and Sewage Works Consultants Japan

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会（通称：水コン協 AWSCJ）

〒116-0013東京都荒川区西日暮里五丁目26番8号 スズヨシビル7階

TEL:03(6806)5751 FAX:03(6806)5753 <https://www.suikon.or.jp>

水コン協
AWSCJ
令和
元年度版

Association of Water and Sewage Works Consultants Japan

平成30年度 事業活動とその成果

豊かな地球 水のある暮らし – 私たちの原点です

平成30年度の主な活動

1 第二期中期行動計画（2019-2021）の策定

水コン協会では、2015年5月に、今後の10年を見据えたビジョンを、2016年5月に、「第一期中期行動計画」をまとめ、活動を推進してまいりました。

平成30年度は、上下水道事業を取り巻く環境を再整理したうえで、「第二期中期行動計画」を策定しました。当計画を今後3年間の水コン協の行動の礎といたします。



第二期中期行動計画

2 水コン協ホームページのリニューアル

水コン協ホームページのデザインを一新するとともに、より活用できるようなリニューアルに着手しました。今回のリニューアルでは、公益社団法人移行に伴い、一般市民を意識した構成にしました。



ホームページ

3 官民連携への促進

多様な官民協働への促進を目指し、官民連携推進WGを立ち上げ、官民連携において水コンサルタントが強みを発揮できる分野を明確にするとともに、その取り組みの強化について検討を行いました。

4 支部活動

- 北海道支部
 - ・技術講習会の開催（7月、10月）
 - ・「私たちの大切な水」パネル貸出し、パンフレット 配布（7月～8月）
- 東北支部
 - ・技術講習会の開催（7月、10月）
 - ・「広瀬川1万人プロジェクト」への参加（9月）
- 関東支部
 - ・事業者への訪問要望活動（8月～10月）
 - ・下水道事業座談会（国、JS、1都3県との意見交換）の開催（1月）
- 中部支部
 - ・水源涵養事業の準備・実施（10月）
 - ・愛知県下水道科学館夏祭りへの参加（8月）
- 関西支部
 - ・2府4県意見交換会（8月～10月）
 - ・災害時支援協定の締結（12月、2月、3月）
- 中国・四国支部
 - ・日本ダクタイル鉄管協会共催講習会（8月、2月）
 - ・災害時支援協定の締結（7月、10月、1月）
- 九州支部
 - ・「下水道展'18北九州」への出展（7月）
 - ・ラプアース2018INふくつへの参加（6月）



新ひだか町での水循環パネル展示状況



広瀬川で清掃作業をする参加者（東北支部）

1 調査研究

1. 調査研究（独自）

「下水道アセットマネジメントのための管理会計に関するセミナー」（11月）などを実施し、得られた成果についてはHPへの掲載などの方法により情報公開しています。

2. 広報誌「水坤」の発行

広報誌「水坤」を発行し、会員各社への配布、地方公共団体、大学等の教育機関、国会図書館等への寄贈をしました。

- ◆ 夏号特集テーマ：「災害対策と上下水道～安全・安心な生活の確保～」（平成30年7月発行）
- ◆ 新春号特集テーマ：「上下水道事業の新たな展開～「維持管理時代」のその先へ～」（平成31年1月発行）



水坤 新春号

3. 大学・他団体の実施する調査研究への参画・支援（受託調査研究）

日本下水道協会（下水道施設維持管理積算要領改定など8件）、日本水道協会（水道施設耐震工法指針・解説の改訂1件）、北海道大学（広域水管理に関するデータ収集）の3機関、合計10テーマについて受託し、主体的に参画・支援しました。この成果は、それぞれの団体から公開され広く活用されています。

4. 委員・講師の派遣

他団体等からの要請を受けて、「下水道技術開発会議」、「浄水技術支援委員会」など30委員会等に委員を延べ57名、また日本下水道事業団「下水道研修」、地方公共団体など主催の講演会・研修会に講師を延べ69名派遣しました。

2 要望と提案

1. 国等への提案活動

上水道・下水道設計標準歩掛について、浄水場更新詳細設計の委託歩掛を要望、提案するとともに、下水道施設設計業務委託歩掛表改定に関して提案しました。

国土交通省下水道部と「BIM/CIM」等について、日本下水道事業団と設計等業務の実施について意見交換を行ないました。また、日本下水道施設管理業協会と維持管理の包括委託とストックマネジメント計画の効果的・効率的な連携について合同WGを立ち上げ、対応案を検討しました。



関東支部座談会

2. 品確法の精神に則った調達制度の構築を要望

上下水道事業の執行上の課題について、「要望と提案(平成30年度版)」に取りまとめ、主な事業体に持参し改善の要望をするとともに、関東、中部、関西、九州の各支部では、都府県等との意見交換会を実施しました。特に、品確法改正により発注者の責務が位置付けられたことを踏まえ成果物の品質確保に資するため、価格競争中心ではなく技術力を評価した調達制度への転換等を要望しました。

3 人材育成

1. 技術研究発表会の開催、技術報告集の発行

第28回技術研究発表会を開催（7月）し、成果発表を通じ会員等の技術力向上を図りました。また、技術報告集「第33号」を発行・ホームページに掲載し、会員成果をアピールしました。

2. 技術講習会、研修会の開催

本部及び各支部において、技術講習会、技術研修会、技術士試験対策講習会等の公開型講習会を計21回（共催含む）開催し、延べ約1,680人（内訳、会員1,060人、地方公共団体職員290人、会員外民間330人）の方に参加いただきました。また、コンプライアンス研修会、若手研修会や施設見学会等を合計22回（共催含む）開催し、延べ約1,640人（内訳、会員680人、会員外民間960人）の方に参加いただきました。

3. 自己研鑽の奨励（CPD制度の運営）

継続的専門能力研鑽制度のプログラムとして46件を認定し、受講者にCPD受講証明書を発行しました。

4. 次世代人材の育成等

出前授業を実施（7月）しました。また、長野県木曾町と協定を締結し、水源地域の水源保全作業を実施（10月）しました。



第28回技術研究発表会



2018年技術研修会（雨水管理）



中部支部水源涵養事業

4 災害支援

行政のパートナーとしての役割を果たすため、他協会との連携・協働により減災、災害復旧・復興に関する支援体制の整備等を進めています。

- ① 事業者との災害時支援協定の締結など下水道BCP策定において協定に基づく関係団体の支援活動が目されるなど、水コン協においては、平成30年度末で災害時支援協定の締結が26事例になりました。また、協定に基づく会員活動を支援するため、「災害時支援者育成講習会」の開催準備に取り組みました。
- ② 熊本地震意見交換会
「熊本地震本震から2年が経過して－下水道管路施設を中心に」の実施（4月）
- ③ 災害時支援マニュアル（下水道版）2018年版の策定（10月）
- ④ 災害時支援ブロック連絡会議、災害時支援全国代表者連絡会議への参加

災害
支援